

古墳(B)

地図 番号	No.	遺跡名	現 存	全 壊	時代	種類	立地	地目	所在地	所有別	遺構	遺物	現状	座標	備考	遺跡 番号
A5	1	森古墳	●		古墳後期	円墳	丘陵裾	山林	矢野町森字西山	私有地	横穴式石室 石室(天井石、東西3.70m、南北2.50m、厚さ2.15m)東壁(現高1.20m)		旧相生市遺跡分布地図では後世の補修、古墳の変形を受けたと思われるとあるが、現状では古墳であるかどうかよくわからない。	N:34° 52'356" E:134° 27'410"	『有年考古館目録』『相生市史資料編(第二集)』(昭和35年3月)	009001
B5	2	菅谷古墳1号墳	●		古墳後期	円墳	丘陵上	山林	矢野町菅谷字松ヶ鼻	私有地	横穴式石室 墳丘 約3.00m×3.00m		墳丘:長さ約11.0m、幅約9.0m。石室:長さ約2.70m、幅1.70m。盗掘跡(4.40m×3.30m)、奥壁(1.50m×1.20m)を確認。	N:34° 51'487" E:134° 26'354"	旧台帳 八幡神社裏山 1号墳	009002
B5	3	菅谷古墳2号墳	●		古墳後期	円墳	丘陵上	山林	矢野町菅谷字松ヶ鼻	私有地	横穴式石室 墳丘 約3.00m×3.00m 羨道部も壁が崩壊(現長3.40m、幅(奥)1.70m)		墳丘:長さ約13m、幅約11m、高さ約2.5m。中心部に長さ約3.5m、幅2.4mの窪みあり。盗掘跡。南向き開口。割石1点確認。	N:34° 51'471" E:134° 26'354"	旧台帳 八幡神社裏山 2号墳	009003
C4	4	小河観音古墳1号墳	●		古墳後期	円墳	丘陵裾	山林	矢野町小河字観音	私有地	横穴式石室 全長5.00m、玄室長2.75m、室幅1.20m、両袖 玄門の幅1.00m、奥壁3段、玄室天井石2、組合式石棺の蓋石と左右側石の一部あり。		横穴式石室、玄室内には箱式(組合)石棺があり、その石蓋の上に五輪塔、墳丘上に稲荷社を祀る。羨道は天井石が落ちかき石で支えている。また玄室内は土がかなり埋まっている。	N:34° 51'353" E:134° 26'214"	旧台帳 小河観音山古墳	009004
B4	5	小河観音古墳2号墳	●		古墳後期	円墳	丘陵上	山林	矢野町小河字観音	私有地	横穴式石室 計測不可能なるも天井石(2.50m×1.65m、厚さ0.55m)がある。		墳丘:長さ約12m、幅約12m、高さ約2.0m。石室:長さ約5.1m、幅約1.2m(入口側)、2.4m(奥壁側)、天井石(1.6m×2.2m)1石確認。南向き開口。	N:34° 51'487" E:134° 26'212"	旧台帳 小河観音裏山古墳	009005
D5	6	下頃古墳1号墳	●		古墳中期	円墳	丘陵上	山林	矢野町下田字裏山	私有地	横穴式石室 墳丘 約4.00m×3.00m 石室(現長4.70m幅(奥)1.13m)		墳丘:長さ約18m、幅約14.0m、高さ約2.5m。石室はほぼ全壊、墳丘上に石材が散乱。おそらく南向き開口で全長は約6.0m。	N:34° 51'114" E:134° 27'020"	旧台帳 下頃2号墳	009006
C5	7	下頃古墳2号墳	●		古墳後期	円墳	山腹	山林	矢野町下田字裏山	私有地	横穴式石室 石室(現長6.00m、幅1.05m)		墳丘:長さ約13m、幅約12m、高さ約2.0m。石室:長さ約6m。奥壁:三枚積みの幅約1.4m天井に近づくほど内傾し、天井部幅約0.8m土に埋もれているため高さは不明。側壁:西側は二段積みで南側は途中で崩れている。天井石を2石確認、奥壁近くの天井壁は1.4m×1.0mである。南向き開口。外護列石。	N:34° 51'130" E:134° 27'041"	旧台帳 下頃3号墳	009007
D5	8	下田西山古墳	●		古墳中期	円墳	山頂	山林	矢野町下田字甲西山	私有地	組合箱式石棺 南側、現長1.66m 幅0.36m～0.28m 北側、現長約1.66m、幅0.34m～0.12m	頭骸骨2、青銅鏡片1、鉄鏃1、槍鉋、枕石、須恵器片多数出土。	墳丘:長さ約11m、幅約8.0m、高さ約0.5m～0.7mで方形の可能性あり。組合箱式石棺:東西約1.4m、幅約0.3m～0.5m、北側に天井石(0.5m×0.4m)と思われるものあり。南側約1mの地点に東西約1m、幅約0.5mの浅いくぼみあり。	N:34° 50'569" E:134° 26'302"	『相生市史資料編(第二集)』(昭和35年3月)昭和26年5月、発掘調査。名古屋大学 樽崎彰一氏、島田清氏ら。	009008
D4	9	下土井城山古墳	●		古墳後期	円墳	丘陵上	山林	若狭野町下土井字城山	私有地	横穴式石室	須恵器杯出土。	頂部、東西7.40m、幅3.40mの範囲に方形陥没。昭和46年の大雨以降陥没ひどく、空洞のみ残存。現状では空洞は確認できない。消滅。			009009
E4	10	寺田城の下古墳	●		古墳後期	円墳	山腹	山林	若狭野町下土井字城ノ下	私有地	横穴式石室 墳丘 約3.00m×3.00m	須恵器多数出土。	下土井城(岡城)がある山の一隅に墳丘が見られたが、盗掘、流出により消滅。		旧台帳 寺田古墳	009010
D4	11	下土井山崎山古墳1号墳	●		古墳中期	方墳	丘陵上	山林	若狭野町下土井字山サキ	私有地	竪穴式石室 天井石3個(長さ1.40m、幅0.47m) 石室の方位、北西-南東。	須恵器片多数出土。	昭和59年度分布調査、1号墳精査。天井石露出3個、護石露出、山側で1～2段、谷側で約3段、30～40cmの角礫を用いる。現状を確認。	N:34° 50'521" E:134° 25'574"	『相生市史第五巻』	009011
D4	12	下土井山崎山古墳2号墳	●		古墳中期	円墳	丘陵上	山林	若狭野町下土井字山サキ	私有地		墳丘傾斜面より須恵器片出土。	昭和59年分布調査。山崎山1号墳に接近。両古墳の中心間約15m、低い稜線上、墳丘の東南約4.0m。2段の護石あり、各々角礫を80cmごとに築いている。現状を確認。	N:34° 50'521" E:134° 25'574"	『相生市史第五巻』	009012
D4	13	下土井山崎山古墳3号墳	●		古墳中期	円墳	丘陵上	山林	若狭野町下土井字山サキ	私有地		墳丘より須恵器片。	昭和59年度、分布調査。完存を確認。	N:34° 50'521" E:134° 25'574"	『相生市史第五巻』	009013

地図 番号	No.	遺跡名	現 存	全 壊	時代	種類	立地	地目	所在地	所有別	遺構	遺物	現状	座標	備考	遺跡 番号
D4	14	下土井山崎山古墳 4号墳	●		古墳中期	円墳	丘陵上	山林	若狭野町下土 井字山サキ	私有地			昭和59年度、分布調査。完存を確認。	N:34° 50'521" E:134° 25'574"	『相生市史第五巻』	009014
D4	新規 (1)	下土井山崎山古墳 5号墳	●		古墳中期	円墳	丘陵上	山林	若狭野町下土 井字山サキ	私有地			昭和59年度、分布調査。完存を確認。	N:34° 50'521" E:134° 25'574"	『相生市史第五巻』	
D4	新規 (2)	下土井山崎山古墳 6号墳	●		古墳中期 (推定)	円墳 (推定)	丘陵上	山林	若狭野町下土 井字山サキ	私有地			5号墳から南東へ数mの地点に南北約8.0m、 東西約8.0m、高さ約0.5mの高まりあり。	N:34° 50'521" E:134° 25'574"	墳丘を確認、古墳の可能性が ある。	
D4	15	下土井飛之尾古墳 1号墳	●		古墳後期	円墳	山腹	山林	若狭野町下土 井字池ノ内	私有地	横穴式石室	鉄鏃、提瓶などの須 恵器片。	墳丘不明。割石散乱。	N:34° 50'518" E:134° 25'489"		009015
D4	16	下土井飛之尾古墳 2号墳	●		古墳後期	円墳	山腹	山林	若狭野町下土 井字池ノ内	私有地	横穴式石室		墳丘:高さ約3.0m。石室:奥壁側の一部土で 埋もれている。側壁:3段積みで南側約3.1m、 北側約2m、幅約1.2m~1.7m、天井に近づく ほど内傾する。高さ約1.5m、東向き開口。奥 からみて右片袖。天井石(1.0m×1.7m)が乗っ ている。	N:34° 50'470" E:134° 25'487"		009016
E3	17	大避山古墳1号墳	●		古墳前期	前方後 円墳	山腹	山林	若狭野町下土 井字東山	私有地	竪穴式石槨 墳丘:全長約57.00m 後円部径25.00m 前 方部27.00m 高さ:後 円部約3.50m 前方部 全面約1.50m	高坏、台付碗、甕、 壺の土師器の細 片。	現状を確認。平成13年度の測量調査で前方 後円墳であると確認された。墳丘に長方形の 陥没。	N:34° 50'283" E:134° 25'403"	旧台帳 下土井宮裏1号墳。 『入野大谷2号墳 緑ヶ丘2号墳 大避山1号墳調査報告書』 「大避山1号墳測量調査報告」 『ひょうご考古』第8号 2001.10 兵庫考古研究会	009017
E3	18	大避山古墳2号墳	●		古墳中期	円墳、 もしくは 方墳	山腹	山林	若狭野町下土 井字東山	私有地	墳丘:長辺約14m、短 辺約10m、高さ約1m (方墳の場合)、墳丘に 人頭大の角礫あり。		平成13年度、測量調査。墳丘に盗掘壙、現状 を確認。	N:34° 50'255" E:134° 25'398"	旧台帳 下土井宮裏2号墳。 「大避山1号墳測量調査報告」 『ひょうご考古』第8号 2001.10 兵庫考古研究会	009018
E3	19	大避山古墳3号墳	●		古墳中期	円墳、 もしくは 方墳	山腹	山林	若狭野町下土 井字東山	私有地	竪穴式箱式石棺 墳 丘 約3.00m×3.00m (方墳の場合1辺10m 前後)		平成13年度、測量調査。墳丘に盗掘壙、現状 を確認。	N:34° 50'250" E:134° 25'396"	旧台帳 下土井宮裏3号墳。発 掘調査、有年考古館長、松岡 秀夫氏ら。「大避山1号墳測量 調査報告」『ひょうご考古』第8号 2001.10 兵庫考古研究会	009019
E3	新規 (3)	大避山古墳4号墳	●		古墳中期 (推定)	円墳 (推定)	山腹	山林	若狭野町下土 井字東山	私有地			大避山3号墳から南に約20mの地点、南北約 5.0m~6.0m、東西約6.0m、高さ約1.0mの高ま りあり。墳丘北部に溝があり、周溝の可能性あ り。	N:34° 50'241" E:134° 25'390"	古墳の可能性はあるが現状で は判別できず。	
E2	20	若狭野古墳	●		古墳後期	方墳	山裾	山林	若狭野町字寺 山	私有地	横穴式石室 西側壁 長4.82m 東側壁長 4.62m 玄門幅1.38m 羨門幅1.42m 外護列 石	壺、甕などの須恵器 片、土師器編が出 土。	横穴式石室残存。墳丘の西北に2段の石罌が 露出、3段の墳丘。墳丘の東南に立石2個、玄 門に左右により袖石が張り出し、扇石が残存。 玄室内には小礫が敷かれている。現在、整備 されている。	N:34° 50'146" E:134° 25'036"	昭和55年3月、測量調査。天理 大学、西谷真治氏ら。昭和60年 3月、県指定史跡。『相生市史 第五巻』	009020
E4	21	八洞古墳1号墳	●		古墳中期	円墳	丘陵上	山林	若狭野町野々 字北山	私有地	横穴式石室	円筒埴輪片。	消滅。			009021
E4	22	八洞古墳2号墳	●		古墳後期	円墳	丘陵上	山林	若狭野町野々 字北山	私有地	横穴式石室	大埴、高坏蓋。	消滅。			009022
F4	23	野々宮山古墳1号 墳	●		古墳中期	円墳	丘陵上	山林	若狭野町野々 字西山	私有地	竪穴式石室 墳丘 約 10m 高さ2.00m	円筒埴輪片、弥生 式土器片出土。(墳 丘附近)	墳丘:南北約18m、東西約18m。中心部に南 北2.5m×1.5mの窪みに割石確認。	N:34° 50'075" E:134° 26'145"	昭和30年頃発見。旧台帳 天 満神宮裏山1号墳	009023
F4	24	野々宮山古墳2号 墳	●		古墳中期	円墳	丘陵上	山林	若狭野町野々 字西山	私有地	竪穴式石室 墳丘 約 3.00m×3.00m	埴輪、鉄剣、刀子、 鉄斧が出土。	墳丘:南北約11m、東西約9.0m。中心部に東 西1.3m×1.0mの窪み内に割石確認。	N:34° 50'074" E:134° 26'140"	旧台帳 天満神宮裏山2号墳	009024
F4	25	野々宮山古墳3号 墳	●		古墳中期	円墳	丘陵上	山林	若狭野町野々 字西山	私有地	竪穴式石室 墳丘 約 3.00m×3.00m		消滅。		旧台帳 天満神宮裏山3号墳	009025

地図 番号	No.	遺跡名	現 存	全 壊	時代	種類	立地	地目	所在地	所有別	遺構	遺物	現状	座標	備考	遺跡 番号
F4	新規 (4)	野々宮山古墳4号墳	●		古墳中期 (推定)	円墳 (推定)	丘陵裾	山林	若狭野町野々 字西山	私有地			南北約12m、東西約11mほどの高まりあり。中心部に割石が散乱。	N:34° 50'061" E:134° 26'054"	墳丘を確認、古墳の可能性が ある。	
F5	26	上松古墳1号墳		●	古墳後期	円墳	丘陵上	山林	若狭野町上松 字向山	私有地	横穴式石室	高坏、甕、壺など須 恵器片出土。	国道2号線開通により消滅。			009026
F5	27	上松古墳2号墳		●	古墳後期	円墳	丘陵上	山林	若狭野町上松 字向山	私有地	横穴式石室		国道2号線開通により消滅。			009027
F3	28 ～ 30	雨内古墳群1～3号		●	古墳後期	円墳	丘陵上	山林	若狭野町雨内 字殿山	私有地	横穴式石室	不明。	宅地造成、道路施設工事に よって消滅。			009028 ～ 009030
G5	31	入野大谷古墳1号墳		●	古墳後期	円墳	山裾	山林	若狭野町入野 字大谷	私有地	横穴式石室		完全消滅。			009031
G5	32	入野大谷古墳2号墳	●		古墳後期	円墳	山裾	畑	若狭野町入野 字大谷	私有地	横穴式石室(片袖式) 玄室長3.60m 全長 6.90m 玄室の上の幅 0.9m 羨門の上の幅 1.30m	金環、管玉、埴瓶、 杯、壺などの須恵器 片。	墳丘:南北約23m、東西約18m。石室:南北約 6.2m。玄室:南北約3.9m～4.0m、東西約0.9m ～1.6mで天井に近づくほど内傾する。高さ: 2.1m、北向き開口。奥から右片袖で袖石の内 側に幅約0.5m、厚さ約0.25m、高さ約1.4mの 立柱あり。	N:34° 49'29.4" E:134° 26'59.7"	昭和57年8月、測量調査。有年 考古館長、松岡秀夫ら。旧台帳 緑ヶ丘2号墳 『入野大谷2号墳 緑ヶ丘2号墳 大避山1号墳調 査報告書』	009032
G6	33	緑ヶ丘古墳1号墳		●	古墳後期	円墳	山裾	畑	緑ヶ丘一丁目	私有地	横穴式石室		完全消滅。		旧台帳 緑ヶ丘古墳1号墳	009033
G6	34	緑ヶ丘古墳2号墳	●		古墳後期	円墳	山裾	山林	緑ヶ丘一丁目	私有地	横穴式石室(片袖式) 石室 現長3.14m 幅 1.08m 羨道 現長 4.20m 幅1.04m 高さ 1.04m	壺、杯など須恵器 片。線刻(人工的に 刻まれたものではあ るが、時代、描写物 体は不明)	石室:南北約7.9m。玄室:南北3.5m、東西約 0.8m～1.7mで天井に近づくほど内傾する。高 さ:2.6m、南向き開口。奥から左片袖。外護列 石。	N:34° 49'160" E:134° 27'139"	昭和57年8月、測量調査。有年 考古館長、松岡秀夫氏ら。旧台 帳 入野古墳 『入野大谷2号 墳 緑ヶ丘2号墳 大避山1号墳 調査報告書』	009034
H5	35	青葉台古墳1号墳	●		古墳後期	円墳	山腹	山林	佐方字矢ノ谷	私有地	横穴式石室 現長 約 3.40m		墳丘:長さ約10m、幅約9.3m。中心部に長さ約 5.8m、幅約2.2mの窪みあり。ほぼ東向き開 口。墳丘の東側一部削られている。	N:34° 48'232" E:134° 27'013"	旧台帳 矢の谷古墳3号墳	009037
H6	36	青葉台古墳2号墳	●		古墳後期	円墳	山腹	山林	青葉台	私有地	横穴式石室 天井石 1.00m×0.62m 厚さ 0.35m	附近に多くの須恵 器片散布。	墳丘:南北約7.5m、東西約8.0m、高さ約 3.5m。天井石と考えられる石(長さ1.1m、幅 0.75m、厚さ0.3m)あり。南向き開口。	N:34° 48'385" E:134° 27'049"	旧台帳 矢の谷古墳1号墳	009035
H6	37	青葉台古墳3号墳	●		古墳後期	円墳	山腹	山林	青葉台	私有地	横穴式石室 天井石 1.10m×0.90m 厚さ 0.36m		墳丘:南北約12m、東西約12m。中心部に南 北約5.7m、東西約4mの抜き取り跡あり。ほぼ 南向き開口。	N:34° 48'385" E:134° 27'049"	旧台帳 矢の谷古墳2号墳	009036
I 5	38	佐方古墳1号墳	●		古墳前期	円墳	丘陵上	山林	佐方字矢ノ谷	私有地	竪穴式石室 墳丘 約 15.00m	円筒埴輪片出土。	墳丘:南北約14.4m、東西約15.5m、高さ約 1.0m。方墳の可能性あり。	N:34° 48'228" E:134° 27'001"		009038
I 5	39	佐方古墳2号墳	●		古墳中期	円墳	丘陵上	山林	佐方字中山表	私有地	竪穴式石室	円筒埴輪片出土。	人頭大の大きさの石が散乱。今回の遺跡確認 調査では、確認できず。位置不明。			009039
H7	40	那波末道古墳1号墳	●		古墳後期	円墳	丘陵裾	山林	那波字末道	私有地	竪穴式石室	不明。	墳丘:南北約13m、東西約11m、高さ約2.5m。 東側壁は土に埋もれている。石室:南北約 5.4m、東西約0.8m、天井石が露出。1.4m× 1.6mと1.1m×0.8mの天井石が乗っている。南 向き開口。	N:34° 49'000" E:134° 28'024"	旧台帳 那波裏山1号墳(ビニ ロン山)	009040
H7	41	那波末道古墳2号墳	●		古墳後期	円墳	丘陵裾	山林	那波字末道	私有地	竪穴式石室 内部に箱 式石棺 蓋石の一つ (長さ0.82m、幅0.44m、 厚さ0.15m)	不明。	1号墳から南に約20m地点。墳丘:南北約 14m、東西約11m、高さ約3.0m。入口から奥壁 に進むにつれて幅は広がる。石室:南北約 6.4m、東西約1.3m～1.8mで天井に近づくほ ど内傾する。高さ約1.8mの天井石が露出。 1.3m×1.0mや1.0m×2.0mなど天井石が数石 乗っている。南向き開口。	N:34° 49'000" E:134° 28'024"	旧台帳 那波裏山2号墳(ビニ ロン山)	009041
H8	42	狐塚古墳		●	古墳中期	円墳	台地	宅地	陸本町	公用地	横穴式石室(箱式石 棺) 石棺 長さ約 1.60m 幅約0.30m 高 さ約0.40m	鉄刀、鉄鏃、馬鈴、 砥石、金銅製飾、小 玉、須恵器、鑑鏡片 など多数出土。	完全消滅、古墳跡地に石碑が立っている。		昭和30年2月、相生市産業会館 建設中に残存物発見。大正年 間産業公会堂建設中に発見。	009042

地図 番号	No.	遺跡名	現 存	全 壊	時代	種類	立地	地目	所在地	所有別	遺構	遺物	現状	座標	備考	遺跡 番号
E8	43	構谷古墳1号墳	●		古墳後期	円墳	山頂	山林	陸字構谷	私有地	横穴式石室 奥行約4.00m 幅1.05m		旧相生市遺跡分布地図に位置が記載されているが、今回の遺跡確認調査では確認できず。位置不明。		『相生市史資料編(第二集)』(昭和35年3月)	009043
F8	44	構谷古墳2号墳	●		古墳後期	円墳	山頂	山林	陸字構谷	私有地	横穴式石室	金環、小玉、埴瓶、壺、杯など多数須恵器、その破片出土。	石の並びが不揃いなものの南北約2.3m、東西約0.9mの範囲に石が密集している。また、東に1.5mの地点に石(0.6m×0.3m)が落ちている。	N:34° 49'578" E:134° 28'478"	『相生市史資料編(第二集)』(昭和35年3月)	009044
E8	新規 (5)	構谷古墳3号墳	●		古墳後期 (推定)	円墳 (推定)	丘陵上	山林	陸字構谷	私有地			墳丘:南北約10m、東西約9.0mの高まりあり。	N:34° 50'176" E:134° 28'485"	墳丘を確認、古墳の可能性はある。	
F8	新規 (6)	構谷古墳4号墳	●		平安時代 (推定)	経塚 (推定)	山頂	山林	陸字構谷	私有地			構谷山頂付近。1.5m×1.2mの範囲に板石が円を成している。経塚か墳墓。	N:34° 50'006" E:134° 28'483"	経塚、もしくは墳墓の可能性はある。	
G9	45	池ノ上古墳		●	古墳中期	円墳	丘陵上	畑	汐見台	私有地	竪穴式石室	スレート式板石のみ刀、槍、手斧、鍬など出土(伝)	完全消滅。		昭和55年8月、発掘調査。有年考古館長、松岡秀夫氏ら。『相生陸池ノ上古墳発掘調査報告書』	009045
G8	46	上塚古墳		●	古墳後期	円墳 (推定)	丘陵裾	山林	山手二丁目	私有地	横穴式石室	陶棺、多数の須恵器片出土(伝)	完全消滅。		「陸村絵図」昭和初期に発掘されたらしい。	009046
G8	47	下塚古墳		●	古墳後期 (推定)	円墳 (推定)	丘陵裾	山林	山手二丁目	私有地			完全消滅。		「陸村絵図」	009047
G8	48	大塚ハザ古墳	●		古墳中期	円墳	独立丘陵地	山林	山手二丁目	私有地		円筒埴輪片。	北側および南東部は宅地造成で削られている。西側にテラス状のものがあり、古墳との関係性は不明である。	N:34° 49'140" E:134° 28'483"	昭和56年8月、測量調査。河原隆彦氏ら。『相生市大塚ハザ古墳調査報告書』	009048
G9	49	池ノ内上の山古墳		●	古墳中期	円墳 (推定)	独立丘陵地	竹林	池之内字上ノ山	私有地	不明	円筒埴輪片、器台底部、脚部などの須恵器片。	調査後完全消滅。墳丘の東西8.00m、南北11.5m、高さ1.50m。今から80年前に盗掘されたらしい。		昭和58年7月、発掘調査、トレンチによる。相生市教育委員会。地元の人は狐塚があったという。	009049
G9	50	大道越古墳	●		古墳中期	円墳	丘陵上 (ゴルフ場内)	雑種地	那波野字大道越	私有地	竪穴式石室 墳丘径10~20mの小円墳。	円筒埴輪片。	墳丘:南北約20mか30m、東西約20m、高さ約3.0m。竪穴式石室。石棺の一部と思われる0.3m×0.2m、厚さ約0.1mほどの石が墳頂部に散乱。墳頂部は東西約7.0mの範囲が平坦である。墳丘西部の2カ所に幅1.3mと幅1.5m、高さ0.1mの範囲に葺石と考えられる石材のまとまりがあり。墳丘北側道路に埴輪片、墳丘上に5世紀の須恵器片散乱。	N:34° 49'261" E:134° 29'164"		009050
G9	51	西中ノ坪古墳1号墳	●		古墳中期	円墳	丘陵上 (ゴルフ場内)	雑種地	那波野字西中ノ坪	私有地	竪穴式石室	円筒埴輪片、須恵器片多数出土。	調査後保存。墳丘は芝生におおわれている。今回の遺跡確認調査では確認できず。位置不明。		昭和30年4月、田中敏光、平井漢氏ら、島田清氏発掘調査。	009051
G9	52	西中ノ坪古墳2号墳		●	古墳中期	円墳	丘陵上 (ゴルフ場内)	雑種地	那波野字西中ノ坪	私有地	竪穴式石室	埴輪、葺石、須恵器片出土。	完全消滅。		昭和30年5月、田中敏光、平井漢氏ら、島田清氏発掘調査。	009052
G9	新規 (7)	西中ノ坪古墳3号墳	●		古墳中期 (推定)	円墳 (推定)	丘陵上 (ゴルフ場内)	雑種地	那波野字西中ノ坪	私有地			墳丘:南北約20m、東西約20m、高さ約3.0mの高まりあり。頂上部に南北約8.0mの平坦部あり。	N:34° 49'344" E:134° 29'307"	墳丘を確認、古墳の可能性はある。	
G9	53	土穴池ノ上古墳		●	古墳後期	円墳	丘陵上 (ゴルフ場内)	雑種地	那波野字下土穴	私有地	不明(竪穴式石室)		完全消滅。			009053
F10	54	宿弥塚古墳	●		古墳中期	円墳	丘陵地	山林	那波野字今池ノ下	私有地	竪穴式石室	形象埴輪、円筒埴輪、多数の須恵器片 脚台付きの埴2、器台2、甕2。	墳丘:南北35m~36mであるが、南側に南北約6m、東西約18m、高さ約1.0mのテラス状の部分があり、帆立貝型とするならば、南北41m~42mとなる。高さ約5m。墳頂部に南北約12mの範囲が平坦である。2m~3mの幅で周溝あり。墳丘の東部が削られている。墳頂には小さな祠が祭られている。	N:34° 49'463" E:134° 29'511"	『龍野市史第4巻』	009054

地図 番号	No.	遺跡名	現 存	全 壊	時代	種類	立地	地目	所在地	所有別	遺構	遺物	現状	座標	備考	遺跡 番号
G10	55	那波野古墳	●		古墳後期	円墳	丘陵裾	山林	那波野字下土穴	私有地	横穴式石室完存 玄室部は両袖式で、現長3.85m、幅約2.00m 石室 現長6.05m、幅10.75m、高さ1.70m	鉦。	墳丘は円墳なるも全面が田畑、背後がゴルフ場のため変形。玄室はほぼ床面が露出、羨道は流入土あり。天井石3個。	N:34° 49'213" E:134° 29'427"	昭和55年3月、県指定史跡。	009055
G9	56	那波野丸山古墳1号墳		●	古墳中期	円墳	丘陵裾	山林	那波野字研屋垣内	私有地	横穴式石室	須恵器片多数出土 滑製紡錘車、埴輪片。	完全消滅。		昭和27年、28年頃の工場建設により消滅。	009056
G9	57	那波野丸山古墳2号墳		●	古墳中期	円墳	丘陵裾	山林	那波野字研屋垣内	私有地	横穴式石室	須恵器片多数出土。	完全消滅。		昭和27年、29年頃の工場建設により消滅。	009057
G10	58	塚森古墳	●		古墳中期	帆立貝式前方後円墳(推定)	丘陵	山林	那波野三丁目	公有地	周濠をもつ中期円墳。下段高さ2.00mのところ、に幅1.00m前後のテラス 20~40cmぐらいの角礫の葺石残存。	円筒埴輪片、金環、勾玉(伝)	鉄道建設に伴い墳丘を削られた。帆立貝型である可能性があり、であるならば全長約60mである。二段築成。	N:34° 49'100" E:134° 29'451"	昭和49年10月、測量調査。相生市教育委員会	009058
H10	59	那波野荒神社裏山古墳		●	古墳後期	土壙墓	山裾	山林	那波野字高芝	私有地	土壙墓	布目瓦、須恵器片出土	消滅。		たび重なる豪雨と造成地による土採取のため崩壊。	009059
H9	60	赤坂古墳	●		古墳後期	円墳	丘陵頂上	畑	池之内字大上原	私有地	横穴式石室 石室 現長3.05m 幅2.00m	須恵器壺片出土。	墳丘:南北約10m、東西約8.7m 東側の畑も古墳に含まれるのならば、前方後円墳となり東西約31mとなる。南側の畑に須恵器片散布。現在、石室は確認できない。	N:34° 48'577" E:134° 29'173"		009060
H9	61	古池横山古墳1号墳		●	古墳後期	円墳	丘陵上	宅地	向陽台	私有地	横穴式石室	提瓶、蓋付杯、壺など多数の須恵器片出土。	完全消滅。		昭和23年10月、調査。平井漢氏。	009061
H9	62	古池横山古墳2号墳		●	古墳後期	円墳	丘陵頂上	宅地	向陽台	私有地	横穴式石室	耳輪、切子玉、土錘、刀剣片、滑石製小玉、須恵器多数出土。	完全消滅。		昭和36年3月、調査。平井漢氏。	009062
H9	63	烏帽子山古墳	●		古墳後期	円墳	山腹	山林	相生字烏帽子山	私有地	横穴式石室	不明。	石室:南北約3.7m、東西約1.2m(入口側)、約1.2m(奥壁側)、高さ約1.2m。天井石が崩れている。石材:溶結凝灰岩。	N:34° 48'349" E:134° 29'287"		009063
K8	64	小丸古墳1号墳		●	古墳後期	円墳	丘陵上	山林	相生字小丸	公有地	横穴式石室 石室 長6.20m 幅1.60m	高杯、杯、杯蓋、壺、器台、甕などの須恵器と鉄鏃、護石など出土。	調査後完全消滅。墳丘:東西14.00m、高さ3.00m、無袖式。明治時代に覆土流出、盗掘された形跡あり(伝)		昭和58年7月、発掘調査。天理大学、西谷真治氏ら。『小丸古墳群』発掘調査報告書	009064
K8	65	小丸古墳2号墳		●	古墳後期	円墳	丘陵裾	山林	相生字小丸	公有地	横穴式石室 石室 現長3.50m 玄室 現長3.50m 幅1.20m 羨道 現長3.30m 幅0.70m 袖幅0.50m 片袖式	高杯、杯蓋、甕、土師器片など多数の須恵器とつばつき鉄刀、水晶勾玉、切子玉、ガラス玉、土製玉多数出土。	調査後完全消滅。墳丘:現長11.00m、高さ2.50m、片袖式。		昭和58年7月、発掘調査。天理大学、西谷真治氏ら。『小丸古墳群』発掘調査報告書	009065
K8	66	小丸古墳3号墳		●	古墳後期	円墳	丘陵裾	山林	相生字南脇	公有地	横穴式石室	高杯、杯蓋、壺、杯などの須恵器多数出土。	採土と土砂崩れのため崩壊し完全消滅。		昭和51年、豪雨により崩壊。	009066
K8	67	小丸古墳4号墳		●	古墳後期	円墳	丘陵裾	山林	相生字南脇	公有地	横穴式石室	高杯、杯蓋、壺、杯その他須恵器多数出土。	採土と土砂崩れのため崩壊し完全消滅。		昭和51年、豪雨により崩壊。	009067
K8	68	野瀬古墳1号墳	●		古墳後期	円墳	丘陵裾	境内地	野瀬字上向	神社	横穴式石室 全長6.00m 幅1.10m	不明。	墳丘、失っている。石室半壊。奥壁東側壁一部残存。西側壁は埋土のため不明。天井石3個、室内に傾いた状態になっている。	N:34° 47'034" E:134° 28'523"	賀茂神社社殿背後にあり、石製の祠を数基祀っている。	009068
K8	69	野瀬古墳2号墳	●		古墳後期	円墳	丘陵裾	境内地	野瀬字上向	神社	横穴式石室 全長3.50m 幅0.85m	不明。	墳丘消失。奥壁は一枚石か。奥からみて左片袖。北向き開口。	N:34° 47'034" E:134° 28'523"		009069
K8	70	野瀬古墳3号墳	●		古墳後期	円墳	丘陵上	山林	野瀬字西ノ山	私有地	横穴式石室 墳丘 径12.00m 幅4.50m		墳丘:南北約12.5m、東西約12.6m。石室:南北約1.5m、東西約5.0m。盗掘されている。	N:34° 47'041" E:134° 28'451"		009070

地図 番号	No.	遺跡名	現 存	全 壊	時代	種類	立地	地目	所在地	所有別	遺構	遺物	現状	座標	備考	遺跡 番号
M6	71	壺根古墳1号墳	●		古墳中期	円墳	丘陵頂上	山林	相生(坪根)	私有地	組合箱式石棺	須恵器片出土。	墳丘:長さ約7.0m、幅約9.0m、高さ約1.0m。 墳頂部改変の可能性あり。	N:34° 46'072" E:134° 27'337"	昭和30年3月、発掘調査。島田清氏ら。	009071
M7	72	壺根古墳群集墳2号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	公有地	組合箱式石棺 石棺 長さ1.66m 幅約0.45 m 墳丘3.00×4.00m (推定)	ガラス小玉約20個、 石枕出土、その他 須恵器片。	墳丘消失、石棺露出。現在、整備されている。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	昭和30年3月、発掘調査。島田清氏ら。旧台帳 坪根2号墳古墳公園内。『壺根古墳群』発掘調査報告書	009072
M7	73	壺根古墳群集墳3号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	公有地	組合箱式石棺 石棺 跡確認(3枚) 長さ41 ~48cm 幅23~38cm 厚さ10cm 墳丘3.00 ×4.00m(推定)	検出されず。	丘陵先端が削られ崖面に露出し、石棺自体は全壊。石棺の痕跡だけ確認できていたが、現在、崖面の護岸工事のため、確認できない。整備されている。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	昭和56年7月、発掘調査。天理大学、西谷真治ら。古墳公園内。『壺根古墳群』発掘調査報告書	009073
M7	74	壺根古墳群集墳4号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	公有地	組合箱式石棺 墓壇 底 長さ1.86m 深さ50 ~60cm	検出されず。	道路工事のため石棺ほとんど削失。墳丘不明。側石3枚残存。現在、崖面の護岸工事のため、確認できない。整備されている。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	昭和56年7月、発掘調査。天理大学、西谷真治ら。古墳公園内。『壺根古墳群』発掘調査報告書	009074
M7	75	壺根古墳群集墳5号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	公有地	組合箱式石棺 棺 身...墓壇内いっばい に板石を組む 内法 長さ74cm 幅20cm	検出されず。	墳丘は開墾のため不明。墓壇上半部削平。蓋石1枚残存。板石4枚と小石(角礫)。現在、整備されている。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	昭和56年7月、発掘調査。天理大学、西谷真治ら。古墳公園内。『壺根古墳群』発掘調査報告書	009075
M7	76	壺根古墳群集墳6号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	公有地	組合箱式石棺 石棺 長さ1.05m 幅0.87m 墓壇深さ35~45cm	土師器片出土。	墳丘認められず。表土5cm下、数枚の側石板、蓋石1枚。長さ1.17m、幅0.65m。被覆露出(積石場状)。現在、整備されている。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	昭和56年7月、発掘調査。天理大学、西谷真治ら。古墳公園内。『壺根古墳群』発掘調査報告書	009076
M7	77	壺根古墳群集墳7号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	公有地	組合箱式石棺 蓋石 (板石) 長さ1.04m 幅0.45m 厚さ9~16c m 内法 長さ0.70m 幅0.20m	検出されず。	墳丘、墓壇とも採土によって破壊。蓋石、側石一部残存。現在、整備されている。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	昭和56年7月、発掘調査。天理大学、西谷真治ら。古墳公園内。『壺根古墳群』発掘調査報告書	009077
M7	78	壺根古墳群集墳8号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	公有地	組合箱式石棺 墓壇 長さ1.60m 幅0.90m 内法 長さ1.20m 幅 40cm	枕石、鉄刀子、滑石 製白玉1、滑石製棗 玉27、滑石製勾玉 1、出土。	墳丘、墓壇とも採土により削平になっている。蓋石6枚残存。側石4枚と2段の小口石積。現在、整備されている。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	昭和56年7月、発掘調査。天理大学、西谷真治ら。古墳公園内。『壺根古墳群』発掘調査報告書	009078
M7	79	壺根古墳群集墳9号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	公有地	組合箱式石棺 墓壇 長さ2.25m 幅1.10m 内法 長さ1.58m 幅 45~50cm	鉄鏃5、青銅製ミニ チュア鏡1、碧玉製 管玉1、出土。	墳丘流出。蓋石の一部露出。人頭大の角礫や円礫、側石7枚と1段の小口積石、蓋石4枚残存。現在、整備されている。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	昭和56年7月、発掘調査。天理大学、西谷真治ら。古墳公園内。『壺根古墳群』発掘調査報告書	009079
M7	80	壺根古墳群集墳10号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	公有地	組合箱式石棺 墓壇 長さ2.43m 幅1.32m 内法 長さ1.48m 幅 15~30cm	枕石、釣針状鉄品 1、出土。	墳丘と2列の礫郡。側石8枚、蓋石10以上残存。現在、整備されている。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	昭和56年7月、発掘調査。天理大学、西谷真治ら。古墳公園内。『壺根古墳群』発掘調査報告書	009080
M7	81	壺根古墳群集墳11号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	私有地	組合箱式石棺 墳丘 3.40×3.60m	須恵器片出土。	墳丘上に角礫群(5個)あり。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	『壺根古墳群』発掘調査報告書	009081
M7	82	壺根古墳群集墳12号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	私有地	組合箱式石棺 墳丘 1.40×1.20m		墳丘はやや方形。その上に2個の角礫あり。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	『壺根古墳群』発掘調査報告書	009082
M7	83	壺根古墳群集墳13号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	私有地	組合箱式石棺 墳丘 3.00×3.00m		墳丘、緩やかな斜面に6個の角礫あり。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	『壺根古墳群』発掘調査報告書	009083
M7	84	壺根古墳群集墳14号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	私有地	組合箱式石棺 墳丘 2.00×2.00m		墳丘、円形で小規模、1個の角礫がある。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	『壺根古墳群』発掘調査報告書	009084
M7	85	壺根古墳群集墳15号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	私有地	組合箱式石棺 墳丘 3.40×3.60m		墳丘、4個の角礫を含む。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	『壺根古墳群』発掘調査報告書	009085

地図 番号	No.	遺跡名	現 存	全 壊	時代	種類	立地	地目	所在地	所有別	遺構	遺物	現状	座標	備考	遺跡 番号
M7	86	壺根古墳群集墳16号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	私有地	組合箱式石棺 墳丘 1.80×1.40m		墳丘、フラットになっており小規模。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	『壺根古墳群』発掘調査報告書	009086
M7	87	壺根古墳群集墳17号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	私有地	組合箱式石棺 墳丘 約5.00m×5.00m		墳丘、1個の角礫を含む。直径約5m。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	『壺根古墳群』発掘調査報告書	009087
M7	88	壺根古墳群集墳18号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	私有地	組合箱式石棺 墳丘 1.80×1.80m		墳丘フラットになっており角礫3個あり。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	『壺根古墳群』発掘調査報告書	009088
M7	89	壺根古墳群集墳19号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	私有地	組合箱式石棺 墳丘 2.00×2.00m		墳丘、平坦だが、角礫群あり。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	『壺根古墳群』発掘調査報告書	009089
M7	90	壺根古墳群集墳20号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	私有地	組合箱式石棺 墳丘 約5.00m×5.00m		墳丘:直径約5.0m、高さ約1.0m。中央部は石棺状に並べられている。盗掘跡あり。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	『壺根古墳群』発掘調査報告書	009090
M7	91	壺根古墳群集墳21号	●		古墳中期	円墳	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	私有地	組合箱式石棺 墳丘 約5.00m×5.00m		墳丘は平坦だが角礫群あり。礫1個露出。墳丘:直径約5.0m。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	『壺根古墳群』発掘調査報告書	009091
M7	新規 (8)	壺根古墳群集墳22号	●		古墳中期 (推定)	円墳 (推定)	丘陵裾	保安林	相生字竹之浦	私有地			21号の南へ約8.0mの地点に直径約5.0mほどの高まりあり。	N:34° 45'509" E:134° 27'494"	墳丘を確認、古墳の可能性が ある。	
I 6	新規 (9)	那波西古墳群	●		古墳後期 (推定)	円墳 (推定)	丘陵上	山林	那波字鍋崎	私有地			工和橋北交差点の西側丘陵上に、古墳七基があるとされているが、現状では不明。		『相生市・緑ヶ丘窯址群Ⅲ』発掘調査報告書	